

020

## 支店長の防災士資格取得による 組織と地域防災リーダー育成の推進

#地域防災力

取組主体

株式会社しずおかフィナンシャルグループ

従業員数

想定災害

実施地域

約 7,000 人

地震・津波

静岡県

全支店長の防災士資格取得を通じて、地域と向き合う管理職層の防災力を高め、行員や取引先、地域住民の防災意識向上やネットワーク作りに取り組んでいる。

### 1 取組の概要

- 株式会社しずおかフィナンシャルグループ（以降、しずおか FG と表記）のグループ会社である株式会社静岡銀行（以降、静岡銀行と表記）は、地域の総合金融機関として、静岡県を中心に、東京都から大阪府まで営業展開している。本事例では、静岡銀行によるしずおか FG 全体を対象とした防災士資格取得の取組について取り上げる。
- 静岡銀行は、地域の防災リーダーとして貢献するための取組を以前から進めており、その一環として全支店長が「防災士」資格を取得することを推奨・支援している。具体的には、同行施設での団体受験の開催、資格取得費用の負担、業務扱いとして金曜・土曜での研修開催により支店長の研修受講時間を確保するなどの支援を行っている。



防災士研修の様子①



防災士研修の様子②

#### 《取組の検討・実施体制》

- 静岡銀行内の防災・管財グループと、人事開発グループの 2 部署で企画段階から協力して仕組みを検討した。現在も連携して取組を進めている。

### 2 取組が始まった経緯・背景

- 静岡銀行では、本取組が始まる以前から、地震に備え、様々な取組を行ってきた。そのため、従来からの営業店の耐震性強化や自家発電装置の設置といった対策に加え、沿岸部の営業店の「津波避難ビル」「津波避難シェルター」導入等、ハード面での整備は全国の中でも進んでいる。
- 他方、2024年8月に日向灘を震源とする地震発生に伴う「南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）」が発表された後、グループ全役職員を対象に防災意識調査を実施したところ、課題や改善点が明らかとなった。防災・管財グループは「これでも南海トラフ地震が発生したら…」という危機感を抱いた。
- そのような経緯もあり、「命と組織を守る支店長には適切な知識をもって、正しい判断をする必要がある」として、いわば相応の「武器」を持たせる意味で、防災士を全員に取得させようという方針で本取組の開始に至った。

### 3 取組による効果・成果

- 2025年11月時点で、116人の支店長が防災士に登録された。さらに対象者を静岡銀行以外のグループ会社の所属長まで広げ、2025年度末までに103人が追加で防災士に登録される見込みである。受講した支店長は防災の必要性を理解し、意識は確実に向上している。「営業目標の達成だけが支店長の役割ではない」と受講者が口にする場面も見られた。
- 防災士資格を取得した支店長は、取引先の会合で自身が講師として地域の災害リスクや避難時の留意点を説明するなど、地域課題解決のため地域防災の面でもリーダーシップを発揮するよう意識が変化している。また、団体受験にすることで、普段から支店長向けの会議等で顔なじみの面々が受講するため、休憩時間に互いの支店の防災に関する取組について情報交換をするなど、副次的な効果もあった。

- 本取組が地元紙や金融専門誌で取り上げられ、生損保会社を含む他金融機関からの問合せや講演依頼が寄せられた。信金中央金庫や一般社団法人全国地方銀行協会等においても紹介の機会を得るなど、金融機関間での情報共有が進みつつある。また、県内のインフラ関連企業等との防災に関する連携検討も進めている。

#### 4 周囲の声

- 2025年7月津波警報発表に伴い、沿岸部の営業店が避難行動をとった際、行員の呼びかけにより、一緒に避難行動をとった子どもの保護者から、「当日は夏休みで子どもたちだけで自宅にいたが、一緒に避難しようと声をかけていただいた。信頼できる大人が地域にいることに感動した。その信頼できる大人が取引先の銀行だったことが本当にありがたい」という感謝の声が寄せられた。
- 外部企業からも取組についての問合せが増えており、地域の防災リーダーとしての役割が期待されている。静岡県の危機管理担当者からも静岡銀行の積極的な避難対応が評価されている。
- 防災士資格取得の取組を通じて、静岡銀行が単に金融サービスを提供するだけでなく、地域防災の要として機能することへの期待が高まっている。特に支店長が地域コミュニティの中で防災リーダーシップを発揮することで、地域に根ざした企業としての本来の姿を実現できるという認識が広がっている。

#### 5 直面した課題と対応

- 通常の防災士研修では静岡会場日程が少ないことがネックであったため、本取組では静岡県内の自社施設（静岡市、浜松市、沼津市）で研修を開催し、受講者の勤務先や自宅から近い会場を選択し受講できるようにした。
- 支店長は定期的に異動するため、新任支店長への継続的な防災教育の実施が課題である。また、防災士資格取得直後は意識が高まるが、時間の経過とともに意識が低下する可能性もある。支店長向け研修の一コマを使った研修等、継続的な取組の必要性を認識している。

#### 6 今後の展望

- 防災士資格取得はゴールではなくスタート時点。「支店長防災士」の今後の取組を支援していきたいと考えている。
- 地域の取引先企業への声掛けも含め、引き続き連携して検討を深めていきたい。グループ外の企業にも広め、地域の企業の代表者が受講するようなモデル作りに取り組んでいる。
- 地域からの期待に応え、本部および営業店がそれぞれの地域で防災の要になっていきたい。行員には、本取組を通じて身に着けた知識を活かし、有事の際に適切な判断を行えるようになってほしい。そして、行員やお客様、地域を守ってほしいと考えている。
- また、地域防災のハブになることを意識しており、他企業との連携を進めていきたい。静岡ガス株式会社、静岡放送株式会社、株式会社静岡新聞社、静岡鉄道株式会社等、共に地元を守る使命をもつ県内企業とネットワークを形成し、どのような取組ができるかを検討している。

#### 担当者の声

地域金融機関は地域あってこそその存在。地域を守り、地域を成長させていくことがミッションである。災害発生時にも、最後まで地域を守る立場であり、行政同様の覚悟が必要だと考えている。この取組を通じて、地域の防災意識向上に貢献していきたい。

問合せ先	動画	サイト URL
株式会社しずおかフィナンシャルグループ 法人番号：9080001025220 〒424-0883 静岡県静岡市清水区草薙北 2 番 1 号 Tel：054-345-9260	—	

#### 《本事例のポイント》

静岡銀行では、全支店長の防災士資格取得を推奨・支援することで、地域とかかわる立場にある管理職層が防災に関する共通の知識と視点を持つ体制を整え、しずおか FG グループ全体に拡大している。防災士資格を取得した支店長が、取引先企業での防災に関する話題提供や、災害時における住民への声掛け・避難行動への関与等、地域と近い立場ならではの関わり方を行っている点が、本事例のポイントである。